



# “積極進取！”



令和2年12月8日(火)

発行者 校長 上原 源三

## ～ 進学重点拠点校としての研究!! ～

以前にもお知らせしましたが、那覇高校は本年度より進学重点拠点校として、県教育委員会より指定を受けております。その目的は、国語、地理歴史・公民、数学、理科及び英語の先生方がプロジェクトチームを作り、年間を通じて単元開発・研究授業・評価問題作成等を行うことにより、各教科における生徒の思考力・判断力・表現力等の育成をめざしていくものです。

今年度の研究授業は10月22日の仲田翼先生（国語）を皮切りに平田真弓先生（地理歴史・公民）、垣花康夫先生（数学）、与儀由美子先生（理科・化学）及び仲田圭吾先生（英語）が11月中旬にかけて行われました。当日は県教育委員会から指導主事や総合教育センターの研究主事、本校の他教科の先生方も参加し、その後は授業の研究會等とおして“授業の構成”“発問の在り方”“内容の検討”など忌憚のない意見を出し合い研究授業をさらに深めていました。



指定初年度で、コロナの影響も受けながら当初の予定通りとはいきませんでした。先生方が様々な観点からより良い授業づくりをしていこうとする姿勢に感動しました。また、指導主事の先生方も那覇高校の先生方の情熱と互いに支え合う姿勢に対し高い評価をしていただきました。

令和4年度の入学生より新学習指導要領に基づき教育課程が実施されます。主体的・対話的で深い学びにつながるよう授業改善が求められています。基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させ、それを基にした必要な思考力・判断力・表現力等を育成し、学習意欲を高める評価の在り方等を研究していくことが大切です。

グローバル社会を生きていく生徒のみなさんに求められている力を育成するため、先生方も頑張っているのです。 校長

## ～ 感動！芸術合同発表会～

12月4日（金）に芸術合同発表会が行われました。県内の高校60校ありますが、このような行事を実施しているのは僅かな学校だけだと聞いています。

生徒は美術、音楽及び書道を選択しますが、美術、書道クラスは授業等で作成した作品を展示し、生徒たちはそれを鑑賞して好きな作品や気に入った作品の感想を記入します。また、音楽クラスは自由曲1曲を混声合唱で発表しました。

コロナ禍で開催方法を熟考し、鑑賞時間は15分とし、美術、書道クラスの作品は、本校HPでも作品を閲覧できるように工夫しました。また、合唱はマスク、換気、極力距離を一定に保ちながらの練習、発表当日は体育館で距離をさらに広げて行われました。

日頃、生徒のみなさんが一生懸命取り組んだ作品や合唱の発表と鑑賞の場になりました。様々な芸術表現の多様性に触れ、自らの感性と違う感性を感じ取ることにより、知性をより深く磨いてほしいと思います。 校長

## \*\*\* 校長雑感 \*\*\*

みなさんは気づいてないと思うが、10月頃から抜け毛が激しくなった。毎日丁寧にお手入れしているのに……。気になったのでYahoo!で調べたら“夏の強い紫外線にあたると髪が傷み、秋頃に抜け毛が増える”と書いてあった。よく思い返してみると“頭皮が日焼けしたら薄さが目立たないかも”と今年の夏は意図的に太陽にあたっていた。……。とても後悔している。

## ～～～ 時の言葉 ～～～

「やり抜く力、大切なものに出合ったときに  
大切だと見抜く力を養ってほしい」



(梶田 隆章)

ノーベル物理学賞を受賞した東京大学宇宙線研究所所長の梶田隆章氏の言葉。沖縄科学技術大学院大学（OIST）で講演し、宇宙の謎に迫るニュートリノ研究の歴史や意義を解説した後、次世代を担う高校生に向けたメッセージです。粘り強く取り組み、本質を追求することの大切さを表した言葉です。 校長

## ～ 学級対抗バレー！ ～

2学年学級対抗バレーボール大会が12月2日、9日の日程で2週にわたって行われています。

コロナの状況を踏まえると開催も心配ではありましたが、2学年主任の山城和也先生を中心に実行委員の生徒のみなさんが実現させてくれました。また、2学年全体で、当日の健康チェック、体育館への入場人数制限、マスク着用、感染防止のルール等をしっかり守り滞りなく行われております。

“コロナ禍の中で何ができるのか”これからの行事の指針になるはず。みんなが力を合わせ、協同して取り組んでいく校訓「和衷協同」の精神がここでも活かされていると感じています。 校長